

令和3年度 (2021年度) 令和4年度 (2022年度) 令和5年度 (2023年度) 令和6年度 (2024年度)

令和4年度 (2022年度) を振り返ろう!

SuitaSSTにおける水道スマートメーターの実証実験を開始

市民とともに 水道事業を守り育み、 未来へ つないでいきます

基本方針Ⅰ

安全 ~安全で安心してできる水道水の供給~

▶ 水道水の高い安全性を維持するために

当該年度も 水質検査 合格!

130項目以上の 水質検査を実施

鉛製給水管 解消件数 679件

直結増圧 給水方式 直結給水率 73.1%

水道メーター 加圧形ポンプユニット

直結直圧 給水方式

水道メーター 止水栓 配水管

まとめ

適正な浄水処理及び水質管理を行うとともに、鉛製給水管の取替えや直結給水のPRなどに引き続き、取り組みました。

本市の水質検査が高い信頼性と精度を有することを保証する水道GLP認定を受けています。令和4年度は、日本水道協会によるサーベイランス(中間審査)において、指摘のあった事項への対応を行い、認定の更新審査に向けて準備を進めました。

基本方針Ⅲ

持続 ~将来にわたり持続可能な水道事業の経営~

▶ 水道スマートメーターの実証実験

概要

無線通信により水道使用量などを自動で検針できる、水道スマートメーターの実証実験をSuitaSSTにおける水道スマートメーターの一部施設において実施

めざす効果

- 自動検針による検針業務の効率化
- 使用水量の見える化による節水意識の向上
- 迅速な漏水検知による水資源の有効活用
- 災害、事故時の断水、給水状況の迅速な把握など

まとめ

小学生対象の浄水所見学や出前授業を通じて、水の大切さについての啓発活動に取り組んだほか、津雲配水場に小水力発電設備を設置し、環境負荷低減を図りました。また、現場力向上方針を踏まえ、高い現場力を持った技術職員の育成を目指して、研修計画「target」を策定しました。



基本方針Ⅳ

地域 ~吹田らしさを活かした市民に身近な水道事業の運営~

▶ 「スイスイサーバー」の活用

本市が主催するイベントや地域のイベントに移動式冷水給水機「スイスイサーバー」を出展しました。

水道水の安全性などをPR

スイスイサーバーを出展したイベント

このまちの水飲んでみて♪

まとめ

若年層の水道事業への認知度を向上させるため、広報誌に掲載する内容やイベントの工夫、SNSの活用などに取り組み、情報発信を図りました。また、隔年実施の市民アンケート調査のほかに、本市の持続可能な水道事業の実現に向けた市民アンケート調査を大阪大学大学院と共同実施しました。

▶ 大学連携の取組

大阪大学大学院との連携

ワークショップの実施

「フューチャー・デザイン」の手法を取り入れ、今後取り組むべき課題や施策などについて議論しました。

大阪学院大学との連携

インターンシップの実施

イベントや出前授業への参加、動画制作と一緒に取り組みました。

出前授業の様子

基本方針Ⅱ

強靱 ~災害に強く、安定して供給できる水道施設・体制の構築~

▶ 災害時給水拠点の機能を増強

津雲配水場に給水車用給水栓と常設の応急給水栓を設置

給水車用給水栓

応急給水栓

北千里給水拠点にも給水車用給水栓や応急給水栓を設置したよ

▶ 応急給水訓練の実施

避難所となる小学校(14校)で、自治会との合同による組立式給水タンクの設置訓練を実施しました。

地域との連携強化

組立式給水タンク設置方法に関する説明動画

まとめ

漏水調査にあわせて、本市が管理する水管橋のうち、13橋について点検を実施しました。今後も定期的に点検を実施し、予防として修繕を行うことで、ライフサイクルコストの最適化や水管橋の長寿命化を図ります。

受援計画に基づき、他事業者の協力の下、応急給水訓練を実施しました。災害発生時などに外部からの応援を円滑に受け入れ、その支援を最大限に活用するため、引き続き、受援計画に基づいた訓練の実施を検討します。

未来につなぐ 市民と育む 信頼のすいた水道